

むくみの仕組みとケア学ぶ

27日 青函 釧路で市民講座

体に生じるむくみの対処方法を学ぶ市民講座が27日と11月10日の午前10時～正午、釧路市星が浦3の釧路孝仁会リハビリテーション病院で開かれる。むくみの仕組みやケアの方法を座学と実技で学ぶ。病気の早期発見や重症化予防に役立ててもらおうと初開催する。

同院は昨年4月にむくみ外来を開設。がんの治療によるリンパ浮腫や慢性疾患に伴う浮腫など、さまざまなむくみに対する治療を行っている。しかし、釧根では対応できない医療機関が患者数に對

して少なく、地域の診療体制を整えて連携しようとして、昨年医療従事者向け講座を初開催。今年は市民に対象を広げた。

リンパ浮腫で通院中の人のほか、浮腫があるが対処方法がわからず困っている人、病気の有無を問わず手足や体のむくみが気になる人などが対象。看護師でリンパ浮腫療法士の森美代子さんが講師を務め、初回はむくみが起こる仕組みを座学で学び、2回目はリンパの流し方などを実践する。

参加無料。定員50人。18日までの事前申し込みが必要。両日参加が望ましいが1日のみも可。申し込みは専用フォーム（QRコード）が同院、



参加を呼びかける原田英之院長（中央）ら

森さんは「メカニズムを学ぶことで、自分のむくみの原因がわかり、早期に対処すれば治療にかかる金銭や体への負担も減らせる」と早期ケアの重要性を説く。同院の原田英之院長は「自身や家族のむくみに悩む人は多い。知識を深め、ケアする方法をこの機会に学んでもらえたら」と呼びかける。

（中川麻衣子）

